

看護だより

KANAGAWA

Vol.194

2020年9月



公益社団法人
神奈川県看護協会

〒231-0037 横浜市中区富士見町3番1
神奈川県総合医療会館内
TEL.045-263-2901 代 FAX.045-263-2905
<https://www.kana-kango.or.jp/>

令和2年度 会員数 36,619人

(令和2年7月31日現在)



▲はじける笑顔



新入職員研修風景
私にもできるかな？



仲間と…未来に向けて



クリスマスにはダンスのプレゼント♥
BY 主任会



▲先輩と後輩♠
確認作業を怠らずに！



▲時には真剣に
カンファレンス

◀イムス横浜狩場
脳神経外科病院
外観



【今月の表紙】

IMS グループ医療法人社団明芳会
イムス横浜狩場脳神経外科病院

→施設の紹介は24ページに掲載しています

CONTENTS

- ◆健康ひろば「未病(ME-BYO)」…2～3
- ◆スペシャリストが行く
「不妊症看護認定看護師」……………4
- ◆目からウロコのお役立ち情報
「アニサキス」……………5
- ◆特別企画「災害支援ナースに訊く！ part 2」
……………6～7
- ◆令和2年度 通常総会開催報告、令和
2年度役員紹介・委員名簿……8～9
- ◆令和元年度事業報告／貸借対照表／正味財産
増減計算書／財産目録 ……10～22
- ◆会員の皆様へ！「指定店」のご案内…23
- ◆こんにちは事務局です／
表紙の写真／編集後記……………24



「未病 ME-BYO」

いくつになっても笑いがあふれ 元気に生き生きと暮らすために
— 神奈川県の取組み —



神奈川県健康医療局保健医療部
健康増進課 未病対策グループ 馬場 友望

神奈川県政策局ヘルスケア・ニューフロンティア
推進本部室 未病産業グループ 川村 亜希

はじめに

私たちが生きるこれからの時代は、圧倒的な超高齢社会となります。神奈川県では、1970年の人口構造は高齢になるにつれて数が少なくなるピラミッド型をしていました。しかし高齢化は年々進み、2050年にはピラミッド型が完全に逆転することが予想されています。(表1)

そうした中であって、いくつになっても笑って元気に生き生きと暮らせるためには「健康」であることが大切です。では、心身ともに健康であるためにはどうしたらいいのか。そこで大切になるのは「未病」という概念です。

未病とは？

神奈川県では「健康」と「病気」を二分論の概念で捉えるのではなく「健康」と「病気」の間を連続的に変化するものとして捉え、その全ての変化の過程を表す概念を「未病」としています。(図1) そして「病気になったら治療する」ではなく日ごろから少しでも健康に近づけていく。これが「未病改善」です。

未病改善の3つの柱

県では「食」「運動」「社会参加」を3つの柱として未病改善の取組みを進めています。(図2)「食」は栄養バランスの取れた食生活を心がけることのほか、口腔機能の衰えに対するオーラルフレイル対策。「運動」は日常生活に運動を取り入れるとともに、睡眠もきちんと取ること。そして「社会参加」はボランティアや趣味の活動など社会とのつながりを持つこと。

これら3つを柱に、日ごろから心身をより健康な状態に近づけていくことを心がけることにより「子どもから高齢者まで、誰もが笑って元気に生き生きと暮らせる神奈川」の実現を目指しています。

図1

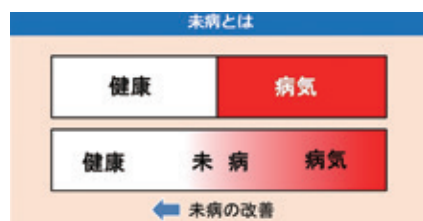


図2



神奈川県の主な取組み

★ライフステージに応じた未病対策

全ての世代が未病を自分のこととして考え、行動していくよう、ライフステージに応じた未病対策を進めています。例えば、子どもの未病対策では、企業と連携し、子ども向け未病学習リーフレットを作成して県内の小学5年生に配布したり、高校生向け健康・未病学習の副教材を作成・配布しています。女性の健康課題に対しては「かながわ女性の健康・未病ナビサイト」による情報発信や企業と連携して女性の健康課題に関するイベント・セミナーなどを開催しています。また、中高年層や高齢者向けには、糖尿病などの生活習慣病対策をはじめ、フレイル対策やオーラルフレイル対策、プロスポーツチームと連携した運動プログラムやコグニサイズ^{※1}などの認知症対策を行っています。さらに、県民が身近な場所で未病改善を実践できるよう「未病センター」の設置・利用を促進しています。県民の方々が気軽に健康状態をチェックし、相談や情報提供が受けられる場として県内市町村や企業・団体が設置・運営するもので2020年4月現在、66か所を認証しています。

※1 コグニサイズ: 国立研究開発法人国立長寿医療研究センターが開発した、認知機能の維持・向上が期待される運動で、コグニション(認知)とエクササイズ(運動)を組み合わせた造語

表1

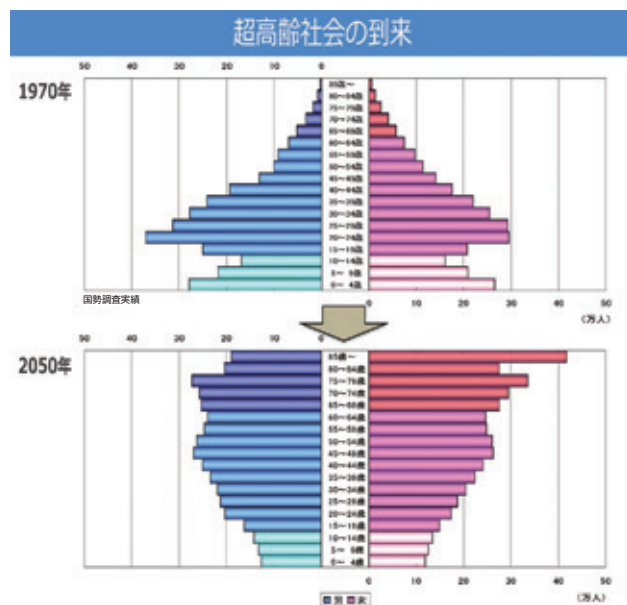
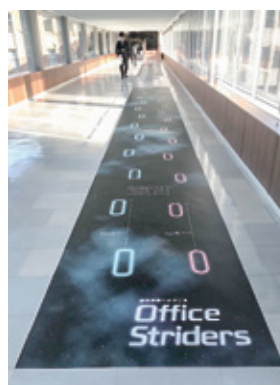


写真1



登山感覚で階段を登る環境を創出
(オフィス クライマーズ)

写真2



廊下に歩幅や歩く速度を意識する環境を創出 (オフィス ストライダース)

★無関心層・無行動層対策

未病改善の普及啓発を進める中で、健康に無関心または関心はあっても行動しない層をどのように行動変容につなげるかが課題となっています。

そこで2019年度から、横浜市立大学コミュニケーションデザインセンター・センター長の武部貴則特別教授の監修の下、氏が提唱する「広告医学」を取り入れ、デザインやコピーライティングといった広告的な手法を活用し、健康に無関心・無行動な方々でも「いつの間にか始めていた」「つい行動したくなる」ことを目指した取組みを展開しています。(写真1、写真2)

★未病指標

2020年3月に、個人の未病の状態を数値で確認できる「未病指標^{※2}」を、県が無償で提供するスマートフォン用アプリ「マイME-BYO カルテ」に実装し、提供を開始しました。(図3、図4)

図3



図4



不妊症看護認定看護師

患者さんが安心して、
その人らしい不妊治療の選択が
できるよう支援したい



医療法人社団慶秀会 神奈川 ART クリニック
不妊症看護認定看護師 鈴木 知美

資格取得を目指したきっかけ

前職の不妊外来では、患者さんは診療の後、医師との面談のみであり、看護師は患者さんとの関わりの場はあまり持てませんでした。そんな中、患者さんから「様々な思いがあるのに相談できる人が身近にいない」という訴えを度々受けていました。不妊治療を続ける方の苦悩は身体的・精神的・経済的な負担とともに、妊娠、出産に至らない辛さや夫婦間の関係性の変化、生活と治療の調整、治療の休息や終結など、多岐にわたります。また、治療の結果には常に期待と不安が伴い、心理的な切迫感やジェットコースターに例えられるほど、心身ともに疲弊していくこともあると言われています。しかし、これらの悩みを身内や友人など親しい人に相談できない方も少なくありません。

そこで、この分野での知識を深め、患者さんが自分らしい治療の選択ができるよう関わっていききたいと思い、不妊症看護認定看護師の資格を取得しました。

現在の活動

当クリニックでは、初回の体外受精で妊娠ができなくても、その原因を診断し、各々の患者さんに合うよう個別化した対応を行っています。体外受精といってもプロセスには様々な方法



患者さんへの指導の様子

がありますので、最適な治療を丁寧に説明し、患者さんが安心して自己決定できるよう支援しています。そのため、毎日カンファレンスを行い、受診される患者さんの情報共有を行います。特に採卵や移植に来られる方々の背景を共有し、安心して治療に臨んでいただけるよう心掛けています。また、月に一度、関連施設との TV カンファレンスで最新の治療に関する情報交換、勉強会を行っています。高度生殖医療に加えて、様々な理由で今すぐ妊娠を望めない方に対しても、卵子凍結など患者さんのその時々ニーズに合った、リプロダクティブ・ヘルス・ライツ[※]に貢献できるよう情報提供を行っています。

※性と生殖に関する健康・権利：すべてのカップルと個人が、出産する子どもの人数、間隔、時期を、自由に責任を持って決断することができる権利、そしてそのための情報と手段を持つ権利など生殖に関する権利

今後について

近年不妊治療を受ける方は増加傾向にあります。様々な面で負担がかかる治療のため、患者さんの心の声を聞き逃さず、納得のいく治療を進めていけるようサポートしていきたいと思っています。今後は不妊予防や生殖機能の温存の視点から、思春期や成人期の若年者（15～34歳）に健康教育の一翼を担うことができるよう、取り組んでいきたいと思っています。



TV カンファレンスでは最新の治療について学びます

目からウロコのお役立ち情報

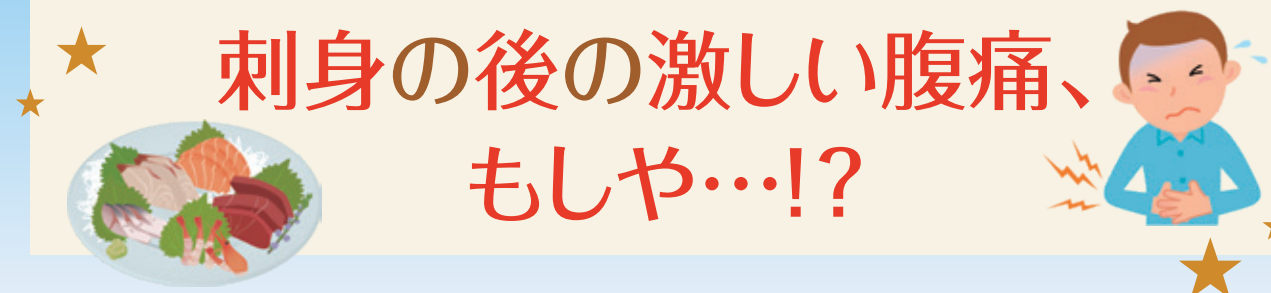
今回のテーマは…

アニサキス



このコーナーでは、皆さんの生活に役立つ、とっておきの情報を提供します。

今回は「アニサキス」について、平塚市民病院 消化器内科 内視鏡室長 谷口礼央先生に解説していただきました。



アニサキスとは？

寄生虫です。成虫はクジラやイルカなどの胃に寄生しています。これらの便に混ざって海中に出た卵をオキアミなどが食べます。これをサバやイワシ、イカなどが食べます。幼虫はこれらの内臓の表面や筋肉の中で育ち、寄生先のサバやイワシ、イカなどが、クジラやイルカに食べられるのを待ちます。われわれ人間がこのサイクルの途中のサバ、イワシ、イカなどを刺身で食べると幼虫が体内に入り、これが胃などに食いついて強い腹痛を起こします。

症状は？

原因となる刺身の摂取から2～8時間後に発症します。採血やCTでははっきりとはわからないことが多く、何を食べたか？という病歴が重要となります。病歴からアニサキスを疑った場合は、胃カメラをします。写真は胃に食いついているアニサキスです。アニサキスは白く細長い形をしています。

このような小さいものが食いついただけで、なぜ激しい腹痛が起こるのか？これにはアレルギー反応が疑われています。ハチに2回目に刺された時に死亡してしまうアナフィラキシーショックと同じ原理です。以前、アニサキスに食いつかれていたが気付かずに関わり、2回目に食いつかれた時に過剰なアレルギー反応が起きて強い腹痛を起こす、というものです。



胃壁に食いつくアニサキス



内視鏡による摘出直後の様子

治療について

治療は内視鏡による摘出です。写真はアニサキスを胃カメラで取り出しているところです。アニサキスを取り出すと、すぐに痛みはなくなります。

ただ、昔の人々はどうしていたのでしょうか？当然、江戸時代に内視鏡はありません。アニサキスはもともとクジラやイルカなどの胃に住むものなので、人間の体内では長くは生きることができません。想像ですが、腹痛を我慢しているうちに自然に治った、ということを経験していたものと思われる。

正しい診断のために

われわれがアニサキスを摂食してしまった場合、ほとんどは胃にくいつきます。しかし、稀に、腸まで流れていくことがあります。この場合は、CTで、食いつかれた部分の腸が腫れているのが分かるので、虫垂炎などと間違われて手術されてしまうことがあります。切除した腸を顕微鏡でみると、虫体が発見され、そこではじめてアニサキスだったことが分かります。これを回避するには、しっかりと医師に、サバやイワシ、イカなどを食べたという病歴を伝えることが重要です。これらの刺身を食べた後に腹痛がおきた場合は、それを必ず医師に伝えましょう。

災害支援ナース座談会

災害支援ナースに訊く！

— PART2 —

前回（7月号）に引き続き、災害支援ナースとして活躍する3人の方から、活動について様々なお話をききます。神奈川は人口10万人あたりの支援ナースの数が2.6人（2019年11月現在）と全国でも低い水準である中、今回は「今後の課題」に焦点を当て、話していただきました。

■ 今後の課題について

司会：今後の課題についてお伺いしたいと思います。

——「知名度の低さ」と「施設の理解」

原：まだまだ災害看護の知名度が低いと思っています。災害支援ナースの育成研修を担当していますが、たくさんの方が受講してくださるのに、施設の理解がなかなか得られず登録につながって行かないのが課題かなと思います。DMATは数時間後に駆けつけて活躍する場がそこにある。災害支援ナースは、DMATの後病院や避難所の看護師の支援にあたります。それまで疲労や不安、悲しみを心に閉じ込めて頑張っている「仲間」の支援に行きます。「明日は我が身」なのです。国や県の協力があればと思っています。災害支援ナースの育成、登録に力を入れている病院に対して、助成金でも出してくれとなったら、バツと広がるかなと。看護師1人いなくなったら結局、夜勤が増えたり日勤が足りなくなったり。3泊4日分って結構な労働力になります。支援に行ったら思うのはマンパワーがあると「人がいっぱいいる」という安堵感でみんな顔がゆるむんです。



原美智子さん
災害支援ナース歴10年のベテラン
パシフィックホスピタル看護部長

支援先の看護師たちも「同じ白衣は着てないけど、看護師がこれだけいるって思っただけで、どんなにほっとしたか」と言ってくれました。それがすごくうれしくて。どこでどんな災害が起こっても、看護師が行くことによって支援に出す病院側はマンパワーが足りなくなるから許可できないというのが本音だろうと思います。

そんな中2011年、派遣に送り出してくれた病院にとても感謝しています。

——ボランティア休暇の新設

長島：私が現地に行ったときに感じたことは、情報の共有の大切さでした。避難所には医師・リハビリ・栄養士・薬剤師など多職種の方が沢山入ります。その中で状態に応じて情報の共有を行いました。「動こうとしない方がいるのでリハビリ体操に誘って下さい」「お通じが出ていない人がいるから看護師さんちょっと見て」など、多職種の間でちょっとした話ができることが大切なんです。そういうコミュニケーションの大切さを理解して支援ナースとして入っていったらすごくいいなあと思いました。

あとは、今働いている病院では、支援ナースとして出すのが初めてだったので、看護部でどのような形で行くのが良いのか看護協会に相談して「ボランティア休暇」を新しく作り、それで行かせてもらいました。他の支援ナースの中には自分の有給で来たり、次の日から夜勤などハードスケジュールの方もいました。3泊4日ですけど緊張で熟睡はできません。それぞれの施設や病院で「ボランティア休暇」を作ってもらえたら支援ナースも行きやすくなるのではないかと思います。また仲間も増えてくるのかなあとと思っています。

■ 登録を迷っている方へ

——持っている知識で役立つことは必ずある

石田：私は、災害支援ナースってもっと災害に特化したことを、やっているとっていました。例えば外来でトリアージをしているとか、臨機応変に動かないといけないというイメージが



熊本地震（2016年4月）、被災地の様子



熊本地震で支援活動をする
長島さん（左）と原さん（右）



手拭いで袋を作成する原さん
（7月号参照）

すごく強くて。私はずっと産婦人科で働いていて、女性は見られるけどやっぱり男性は携わっていないから、こんな偏った科の人が災害支援ナースとして行ったとしても役に立たないだろうなと思っていました。トリアージやファーストエイド、いろんな疾患のことも知らなきゃいけないという思いがありました。勉強していくうちに、持っている知識の中で伝えられることがあるかな、子育てをしているママたちだったら私にも相談できるかなと思い、登録しました。こんな私でも行っていいんだって思いが増えれば、もう少し支援ナースも増えていくんじゃないかなと思っています。

——ただ、隣に座っているだけで…

原：東日本大震災の時には、日本看護協会に日本中からの災害支援ナースが集まっていました。帰りのバスの中で皆さんと「どんな風に感じたか」「何か出来ることがあったか」「何をしていたか」を話しました。



石田智子さん
災害支援ナースは登録したばかり
茅ヶ崎市立病院勤務



長島良江さん
災害支援ナース歴5年
横浜新緑総合病院勤務

60代半ば過ぎの方がこんな話をしたんです。「私は体育館の避難所に行ったのですが、ステージに上がる階段のところに30代くらいのお母さんが一人ぼつんと朝から夜まで座っていました。私はその方の隣にずっと一緒に座っていました。最初2.3言話しかけたけど、特に何も言わないから『あのなんか聞きたいこと、話したいことがあったら言ってね』と言って、自分はただずっとそこに座っていました。『申し訳ないけど明日帰るからね』と言ったら『ありがとう』って言ってくれたんです」

ただそこにいられるだけでも、できることはあるんですね。精神的な支えというか。「私は、50過ぎているから支援ナースはちょっと」って思っている方にどんどん入っていただけたらと思います。若い人から年配の方までいろんな知識の中で、災害支援ができればいいなと思います。

司会：最後に、災害支援ナースになるために神奈川県看護協会で行っていることを伝えていただけますか。

原：昨年から「学んでみよう災害看護」そこから始めています。そして神戸からのインターネット研修を基礎編2日間、実務編2日間受講し「災害支援ナース」として登録します。災害支援ナースたちのフォローアップ研修を年に1回行っています。

フォローアップ研修ではいろいろやっています。一度も行ったことのない人もいますし、支援に行った方たちの話や災害に特化した研修をしています。

司会：本日はありがとうございました。一人でも多くの災害支援ナースが増え、支援の輪が広がることを願っています。（編集：広報出版委員会）



司会・聞き手
広報出版委員会
委員長 柿澤文子
（2020年3月現在）

編集を終えて：被災地の多様性の中で、自分が培った看護の経験や技術を生かす場がそこには必ずあるのだと、今回の座談会を通して知ることができました。3人の支援ナースさんたちは笑顔の中に凛とした強さを持っていたらっしやと感じました。これからの益々のご活躍を期待しています。今後、災害支援ナースの輪が広がり、困難な時代であっても豊かな精神性に支えられた社会となることを願ってやみません。

令和2年度通常総会開催

“継続教育の充実と災害・感染症対策など、 新たな課題に積極的かつ柔軟に取り組んでいく”



挨拶する花井会長

去る6月19日（金）県総合医療会館7階講堂において、令和2年度通常総会が開催されました。コロナ禍の中、感染防止に配慮し、限定した出席者のみによる総会となりました。

令和2年6月1日現在の総会員数は34,666名、委任状26,659名で参加者数は48名でした。

花井会長挨拶の後、平成元年度事業報告、令和2年度重点事業及び事業計画、令和2年度収支予算の報告に続いて、第一号議案「平成元年度決算報告および監査報告」の審議が行われ、採決の結果、満場一致で承認されました。

第二号議案では「令和2年度役員の選出」が行われ、投票の結果、候補者9名全員が選出されました。

臨時理事会を経て、長場常務理事、藤波助産師職能理事、原横浜北支部理事、吉澤横浜西支部理事、濱崎横浜南支部理事、小池横須賀支部理事、藤澤小田原支部理事、渡辺県央支部理事、青山監事が選定されました。

なお、令和元年度事業報告・決算報告はP10～22に掲載していますので、ご参照ください。



感染防止対策を施した総会の様子



退任の挨拶をされる旧役員の方々



令和2年度 委員会名簿

※（再）＝再任 （新）＝新任

職能委員会 保健師職能委員会 米倉睦弥（保） 川田貴久江（保） 小飛田真智子（保） 市川奈央（保） 金松智絵（保） 坂本由香里（保） 大澤美穂子（保） 舟久保麻理子（保） 助産師職能委員会 藤波富美子（助） 川邊康奈美（助） 熊丸真奈美（助） 土井秀子（助） 中井綾美（助） 二見智枝子（助） 平谷直苗（助） 藤谷直子（助） 松原美秋（助） 看護師職能委員会Ⅰ 横田弘子（看） 小林和子（看） 浅井由紀子（看） 伊佐香子（看） 阪本まり子（看） 西野隆子（看） 亀林礼子（看） 小林理恵子（看） 中野日美子（看） 看護師職能委員会Ⅱ 平田祐子（看） 河村朋子（看） 真田あけみ（看） 池田恵理（看） 小大園基夏（看） 川口山真子（看） 加藤茂子（看） 志丹純子（看）	川崎支部 本館教子（看） 上田今日子（看） 佐藤慎子（保） 杉田ひかる（保） 出水要子（看）	川崎支部 田嶋美恵子（看） 時下美聖加子（看） 横浜北支部 原久美子（看） 佐々木貴子（看） 大山千佳子（看） 山本久子（看） 早田千里（看） 富山絢子（看） 江川麗子（看） 鈴木裕子（助） 横浜西支部 古澤壽子（看） 川上純子（看） 大塚明子（看） 村藤華之枝（看） 櫻井理恵子（看） 大田信子（看） 田口佳寿美（看） 横浜南支部 濱崎登代子（看） 井出ひとみ（看） 植田幸子（看） 牧原小百合（看） 山根貴子（看） 横須賀支部 小池美智子（看） 伊藤佳歌（看） 楠井織子（看） 吉村佳奈美（看） 鈴三恵子（看） 葛巻一美（看） 石田美佐子（看） 藤新倉明子（保） 相模原支部 渡辺加代子（看） 梶山有美子（看） 福増美智代子（看） 熊川晶子（看） 七藤妙子（保） 加小香里（保） 水いづみ（看）	湘南支部 本江菜穂子（看） 西島美里（看） 熊谷真文（看） 佐藤文子（看） 田笠丸純子（看） 牛上幸子（看） 尾上知世（保） 県央支部 渡辺美加子（看） 小谷由恵子（看） 吉佐藤敏子（看） 高津津裕子（看） 梅津由美子（看） 壺井潮倉悦子（保）	常任委員会 推薦委員会 高野恵子（助） 小原澄子（看） 阿部愉貴子（看） 笠嶋晴子（看） 高木千晴（看） 曾我利江（保） 山本雪子（看） 社会経済福祉委員会 奥山洋子（看） 奥相川依子（看） 田中真琴（看） 川島久江（看） 栗尾邦子（看） 門馬ひとみ（保） 石原佳代子（看） 松本文子（看） 教育研修委員会 西崎恵利子（看） 嶋澤美恵子（看） 石塚久美子（看） 一井はじめ（看） 折内奈津江（看） 貝聖子（看）	川清後五小嶋杉中長樋三村山古 口田藤藤林崎崎 眞久美和子（看） 澄子美和子（看） 明美子（看） 妙初恵子（看） 倫みゆき（助） 眞亜希子（看） 菜穂子（看） 江身子（看） 千恵子（看） 広報出版委員会 坂本宏子（看） 眞有美子（看） 奥川桂子（看） 面田利文（看） 矢後さとみ（看） 相原慎子（看） 竹田英子（看） 森脇すみ子（保） 山口佳哲（看） 業務委員会 浅倉京恵子（看） 熊山亜美（保） 袖北紅葉（保） 小出絹枝（看） 菅原利栄（看） 会員委員会 伊藤弘子（保） 大野容子（看） 益村智幸子（看） 小島恵理子（看） 瀨川千恵子（看） 西川雪子（看） 医療安全対策委員会 三上久美子（看） 新堀美佐香（看） 堀田まゆみ（助） 安齋英恵子（看） 大原志歩（看） 鹿内佳子（看） 柴田淑子（看） 災害救済対策委員会 原美智子（看）	石長源重西松三 田島平松坂尾浦 智良雄大（看） 子江（看） 美智子（保） 利奈子（看） 直美（看） 友也（看） 神奈川看護学会運営委員会 尾花由美子（看） 渡部節子（助） 上邦枝（助） 香取洋子（助） 金井Pak雅子（看） 杉山恵子（看） 辻本真由美（看） 新橋一美（看） ハッ橋のぞみ（看） 横田亜矢（看） 和田由樹（看） 看護師教育検討委員会 津江優紀（看） 櫻田薫子（看） 長文枝（看） セ佳子（看） 高梨明子（看） 二宮昭子（准） 金子友美（准）
--	--	---	--	---	--	--

（令和2年7月現在）

令和2年度 役員紹介

※（再）＝再任 （新）＝新任

 花井 恵子 神奈川県看護協会	 渡部 節子 横浜市立大学医学部看護学科	 長野 広敬 東海大学医学部付属大磯病院	 渡邊 二治子 神奈川県看護協会	 尾花 由美子 神奈川県看護協会	 長場 直子 神奈川県看護協会
 保健師職能理事 米倉 睦弥 相模原市健康福祉局 保健衛生部南保健センター	 助産師職能理事(新) 藤波 富美子 横浜市立大学附属 市民総合医療センター	 看護師職能理事Ⅰ 横田 弘子 東海大学医学部付属病院	 看護師職能理事Ⅱ 平田 祐子 介護老人保健施設 都築ハートフルステーション	 准看護師理事 金子 友美 緑成会横浜総合病院	 川崎支部理事 本館 教子 聖マリアンナ医科大学病院



事業報告

重点事業

- 地域包括ケア推進に携わる看護職の資質向上とその支援
 - 病院から地域への円滑な移行を進めるための看護職員研修の充実
 - 地域看護領域で働く看護職の資質向上に向けた研修の充実
 - 地域包括ケアの充実に向けた多職種連携の推進
- 看護職の働きやすい職場環境づくりへの支援と就業促進
 - 職場環境改善に向けた研修の充実
 - 働きやすい職場環境づくりに向けた看護管理者研修の充実
 - 就職情報の充実と就業支援の促進
- 時代のニーズに対応した継続教育の充実とキャリア支援の推進
 - 質の高い看護実践を推進する看護管理者研修の充実
 - 小規模施設で働く看護職員・管理者研修の充実
 - 看護師のクリニカルラダー活用の推進
- 災害時対策の充実
 - 災害看護実務研修・管理者研修の充実
 - 災害支援ナース育成の推進
 - 災害支援に関わる関係機関等との連携強化と対応訓練の充実

I 保健・医療・福祉の知識の普及啓発に関する事業(定款第4条第1項第1号 公益目的事業)

事業実施内容
1 県民に対する看護の普及活動 - 看護週間行事 - 看護フェスティバルの開催 令和元年5月11日(土) みなとみらいクイーンズサークル 参加者数 延2,197名 ・生活習慣病対策(血管年齢・脳年齢等の測定) ・健康相談 ・看護師等になるための進路相談 「一日看護体験」事業 実施期間 令和元年5月1日～8月31日 参加者数 7,225名 県内病院等実施施設 170施設 - 県民に対する広報活動の強化 - 広報出版委員会の開催 「KANAGAWA 看護だより」の発行 年6回 計214,400部発行 配布先：病院等施設、市町、図書館等及びホームページ掲載 - ホームページの充実・利用の促進 アクセス数 年187,986件
2 県民のための健康相談及び知識の普及 健康相談事業の充実

事業実施内容
支部及び協会訪問看護ステーションの「まちの保健室」活動支援 活動支部 川崎支部、横浜北支部、横浜西支部、横須賀支部、相模原支部、県央支部 県看護協会訪問看護ステーション 年1回×4事業所
2) 健康・医療・安全に関する知識の普及・啓発 県民及び看護職を対象とした禁煙の推進 「スモークフリー推進かながわ基金」への拠出及び禁煙に関する委員会への参加
3) 県内の医療職に対する緊急情報の周知 (1) トピックス研修 年1回 テーマ「災害時、地域住民として看護職の私ができること ～令和元年台風15号・竜巻・台風19号の被害調査、支援活動を通して～」 令和2年3月16日(月) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
(2) 緊急情報のホームページへの掲載(随時)
4) 次世代育成対策の普及 看護実践教育アドバイザー派遣 派遣対象施設：看護学生の実習受入施設(199床以下の病院及び看護職員が少ない福祉施設) アドバイザー6名、派遣実績9施設、新規実習受入相談施設4施設

II 在宅等での療養者のための訪問看護、居宅介護支援事業(定款第4条第1項第2号 公益目的事業)

事業実施内容
1 訪問看護及び居宅介護支援事業 - 訪問看護事業 医師等との連携による療養支援、夜間・休日における緊急時の相談及び訪問、適切なケアと家族等への支援 (1) 訪問看護ステーション所長会議 年11回、事務職員会議 年1回 (2) 訪問実績 かがやき訪問看護ステーション(藤沢市) 13,379件 あかしあ訪問看護ステーション(茅ヶ崎市) 6,968件 おいそ訪問看護ステーション(大磯町) 6,215件 洋光台訪問看護ステーション(横浜市) 8,910件 合計 35,472件 - 居宅介護支援事業 要介護状態の人々が自立した質の高い生活を送ることができるよう、ケアプランの作成及び相談支援 ケアプラン作成実績 かがやき訪問看護ステーション(藤沢市) 444件 おいそ訪問看護ステーション(大磯町) 602件 合計 1,046件
3) 訪問看護・居宅介護支援事業の質評価 (1) 利用者満足度調査 年1回 (2) 介護サービス情報公表にかかる事業所自己評価 年1回
4) 地域への活動 (1) 退院調整のための病院訪問(地域連携室など) 各訪問看護ステーション 月2回/年24回

事業実施内容			
(2) 訪問看護ステーションの普及・啓発活動			
各訪問看護ステーションパンフレット作成			
広報活動(広報誌、地域住民向け健康講座、SNS 等の利用)			
(3) 訪問看護ステーション教育支援(県補助)			
同行訪問研修			
新任または経験の少ない訪問看護師への研修			
教育担当者への研修			
5) 看護職員等の資質の向上			
(1) 訪問看護ステーション内研修			
訪問看護に関する情報共有、勉強会等	各訪問看護ステーション	月 2～4 回	
(2) 事例検討会			
困難ケース等についての検討会	各訪問看護ステーション	年 3 回	
(3) 研修への参加			
訪問看護ステーション	年 2 回		
6) 看護職・看護学生・福祉職に対する教育支援			
看護大学生、専門学校生、県看護協会研修生等の受け入れ	延 168 名/4 ステーション		
7) 関係機関との連携			
(1) 病院と看護協会訪問看護ステーションとの訪問看護出向事業			
	年 1 回		
(2) 関係団体との連携及び会議等への参加			
各訪問看護ステーション	年 10 回		

Ⅲ 看護における医療安全及び災害時等の救護に関する事業(定款第 4 条第 1 項第 3 号 公益目的事業)

事業実施内容			
1 看護における医療安全体制強化のための支援			
1) 医療安全情報収集・情報発信			
医療安全対策委員会	年 8 回		
「医療安全情報」発行	年 3 回	4,500 部	配布先 病院等施設
2) 医療介護福祉従事者への意識啓発			
講演会	テーマ「身体拘束をめぐる医療安全と臨床倫理」		
	令和 2 年 3 月 25 日(水) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		
3) 医療安全管理者養成研修修了者への活動支援			
医療安全管理者情報交換と啓発活動	交流会	年 10 回(講演会 1 回含む)	
4) 関連団体との連携推進			
(1) 日本看護協会との連携			
(2) 神奈川県 6 団体による医療安全推進会議及びセミナーへの参加			
会議	年 1 回、セミナー	年 1 回	
5) 医療安全に関する相談・情報提供			
(1) 医療事故に関係した看護職への支援、相談対応			
(2) 医療事故防止対策に関する広報			
(3) 「医療安全情報」のホームページ掲載			
(4) 医療安全推進週間の広報(11 月 25 日含む前後 1 週間)			
6) 小規模施設の感染予防対策の充実			
認定看護師による出張相談	1 件		

事業実施内容			
2 災害時の看護支援活動の強化と普及			
1) 関連団体との連携推進			
(1) 日本看護協会との連携推進			
・日本看護協会災害担当者会議 年 1 回			
・都道府県看護協会災害支援ナース派遣調整合同訓練への参加 年 1 回 3 日			
(2) 県・市合同総合防災訓練への参加			
・県市合同総合防災訓練会議 年 2 回			
・県市合同総合防災訓練 年 1 回			
(3) 県内関連施設との連携			
県内関連施設との防災訓練 年 1 回 3 日			
(4) 横浜市災害看護研修 年 1 回 受講者 28 名 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1 回中止			
2) 災害支援ナースの派遣			
神奈川県及び(公社)日本看護協会の要請に基づく災害支援ナースの派遣準備			
3) 災害への備え・広報活動			
(1) 災害救護対策委員会			
(2) 災害発生時のマニュアル整備			
・災害時受援マニュアルの検討			
・災害支援ナース携行物品の整備(9 セット)			
(3) 災害看護研修の支援			
・インターネット配信研修(災害支援ナースの基礎知識) 年 2 回 各 2 日			
第 1 回 受講者 104 名、第 2 回 受講者 65 名			
・災害看護マネジメント研修 2 日 受講者 52 名			
・災害支援ナース育成研修(災害看護実務編) 年 2 回 各 2 日			
第 1 回 受講者 58 名、第 2 回 受講者 60 名			
・災害看護基礎研修 学んでみよう災害看護 1 日 受講者 97 名			
(4) 災害支援ナース登録推進			
災害支援ナースフォローアップ研修 令和元年 6 月 17 日(月) 受講者 120 名			
対象者：災害支援ナース登録者			
(5) 県民を対象とした災害時の知識の普及・啓発			
・県市合同防災訓練及び看護フェスティバル等でリーフレット配布、デモンストレーション			

Ⅳ 看護師等の資質向上を図るための研修等に関する事業(定款第 4 条第 1 項第 4 号 公益目的事業)

事業実施内容			
1 看護職の資質向上の支援			
1) 継続教育の推進			
(1) 看護実践能力研修			
年 26 回	延 31 日	延受講者 2,607 名	
(2) 組織的役割遂行能力/自己教育・研究能力研修			
年 13 回	延 20 日	延受講者 1,129 名	
(3) 小規模病院に勤務する看護職員研修(対象：新人看護師)			
年 6 回	6 日	受講者 11 名	
(4) 小規模病院に勤務する看護職員研修(対象：中堅看護師)			
年 6 回	9 日	受講者 6 名	
(5) 小規模病院に勤務する看護職員研修(対象：看護管理者)			
年 6 回	9 日	受講者 6 名	

事業実施内容			
(6) 研修運営事業			
・「教育計画」タブロイド判作成	48,000 部		
・教育事業実施報告書作成	1,380 部		
(7) オープンセミナー			
病院等施設などで企画した研修を県下の看護職に公開			
実施施設	35 施設	延 299 研修	参加者 1,993 名
2) 新人看護職員研修の充実			
(1) がんばれ！新人ナース！！	1 日	受講者	665 名
(2) 新人看護職員研修責任者研修	3 日	受講者	66 名
3) 支部との連携研修	1 日	受講者	92 名(横浜北支部との連携)
4) 看護研究の充実			
(1) 神奈川看護学会の開催			
令和元年 11 月 30 日（土）パシフィコ横浜アネックスホール 参加者 746 名			
・運営委員会	年 4 回		
・査読会議	年 1 回		
・看護研究奨励賞選考会議	年 1 回		
(2) 看護研究推進支援	研究指導講師紹介	6 グループ	
5) 教育企画運営に向けての支援			
(1) 教育研修委員会			
(2) 准看護師教育検討委員会			
2 看護職の活動の充実			
1) 職能における研修等			
2) 支部における研修等			
3) 看護職員の就業環境改善の促進			
(1) 業務委員会			
(2) 社会経済福祉委員会			
3 地域看護の推進と拡充			
1) 地域看護の質向上と推進			
(1) 訪問看護の推進			
訪問看護ステーション一覧の作成 2,000 部			
配布先:訪問看護ステーション、地域包括支援センター、病院、行政等、ホームページへの掲載			
(2) 「訪問看護従事者相談」相談窓口の設置			
訪問看護等に関する相談、助言 週 1 回 年 174 件			
2) 地域看護の質向上に関する研修			
(1) 地域看護における看護職員の育成			
・訪問看護入門研修会	年 5 回 2 日	受講者	延 164 名
・訪問看護師養成講習会	年 1 回 30 日	受講者	60 名 公開講座 306 名
・精神科訪問看護基本療養費算定要件研修会	年 1 回 3 日	受講者	68 名
・地域連携のための相互研修会	年 2 回 3 日	受講者	123 名
・介護保険施設等看護研修Ⅰ(基礎レベル)	年 1 回 3 日	受講者	74 名 公開講座 58 名

事業実施内容			
・重度重複障がい児者等支援看護師養成研修(看護学生対象) 年 1 回 受講者 210 名			
(2) 地域看護におけるリーダーの育成と専門性の確立			
・介護保険施設等看護研修Ⅱ(中堅レベル)	年 1 回 3 日	受講者	70 名
・小児訪問看護・重症心身障がい児者看護研修会	年 1 回 11 日	受講者	68 名 公開講座 148 名
・重度重複障がい児者等支援看護師養成研修(看護師対象)	年 2 回 1 日	受講者	56 名
(3) 地域看護におけるトップマネジャーの育成			
・訪問看護ステーション管理者研修会	年 2 回 1 日	受講者	延 204 名
・介護保険施設等看護研修Ⅲ(管理レベル)	年 1 回 3 日	受講者	67 名

Ⅴ 看護師等の就業促進及び看護に関する進路相談事業(定款第 4 条第 1 項第 5 号 公益目的事業)

事業実施内容			
1 看護職員確保定着対策の推進			
1) 看護師等の無料職業紹介事業(本所及び相模原支所)			
(1) 求人・求職者の登録・相談、紹介、情報提供			
求人相談 年 4,063 件、求職相談 年 4,385 件			
(2) 第 5 次 NCCS の運用	求人施設の個別支援：訪問	年 56 施設	就職数 年延 511 件
(3) 相談員の質の向上	相談員学習会	年 3 回	
2) 届出制度の促進及び支援事業			
(1) 届出制度の普及	届出数：4,248 人		
(2) 届出者の情報管理	就職・研修等の情報提供	1 回以上/月	
3) ハローワーク・ナースセンター連携事業			
(1) 労働局・公共職業安定所との連携			
・求人票・求職者の情報交換と支援及び職種別賃金等の情報交換			
・巡回相談の実施	5 回/月	面談者	125 人
・運営及び情報共有の会議	連絡調整会議の開催	年 2 回、求人・求職の情報共有	
・相談会等への相談員の派遣	連携した相談・見学会の実施	年 9 回	
4) 広報活動及び情報提供事業			
(1) 「ナースセンターご案内」リーフレット等の作成・配布			
未就業看護職・施設等への配布 2,119 部			
(2) 看護学生・教員への周知			
卒業年度学生へ「はたさば」配布			
(3) 年報の発行	200 部	配布先：行政機関等	91 箇所
(4) 医療・看護・介護に関するビデオ・DVD の貸出(館内・館外)	利用件数	年 70 件	
(5) ナースセンターホームページによる広報の強化			
求人・求職登録増にむけた内容修正 3 回/月			
5) 関係機関との連携・会議			
(1) 中央・都道府県ナースセンターとの連携	通年/随時		
(2) 社会福祉協議会福祉人材センターとの連携			
・福祉施設等就職相談会等への協力・後援			

事業実施内容		
福祉施設等就職相談会への派遣及び登録求職者への研修案内配布協力		
(3) 会議		
・看護職員確保対策連絡協議会	年 1 回	
・ナースセンター事業運営会議	年 1 回	
・ナースセンター連絡会議	年 2 回	
・都道府県ナースセンター事業担当者会議	年 1 回	
・都道府県ナースセンター相談員研修	年 1 回	
・都道府県ナースセンター地区別意見交換会	年 1 回	
6) 看護職員の定着を図るための相談事業		
就業者の就業相談の実施	相談内容の分類と分析/通年	
7) 研修支援事業		
(1) 未就業看護師等への「復職支援研修」		
	年 6 回	定員 300 名 受講者 235 名 就業者数 36 名
(2) 定着に向けた「就職定着自己学習会」		
	年 6 回	定員 36 名 受講者 36 名 定着数 13 名
(3) 看護職のキャリア継続支援研修「キャリアをつなぎ・いかす」		
	定員 80 名	応募者 88 名 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
2 看護に関する普及啓発事業の充実		
1) 進路相談事業 通年 相談件数：79 件/年 案内期間：5 月 1 日～8 月 31 日		
2) 看護フェスティバル開催への協働		
看護フェスティバルでの相談	65 件	
3) 看護の仕事の普及啓発		
若年層を対象とした看護の仕事の普及啓発		
「やさしさがキャリアになる」リーフレット配布		

VI 会員に対する支援事業(定款第 4 条第 2 項第 1 号 収益事業)

事業実施内容		
1 会員に対する情報提供等事業		
1) 職能委員会における情報提供等		
2) 支部における情報提供等		
2 会員に対する福利厚生事業		
1) 「看護職賠償責任保険制度」の加入推進	加入者数	8,369 名
2) 表彰		
3) 神奈川県看護協会指定店事業	指定店	約 300 店舗
4) 会員の慶弔等への対応	弔慰金支給	8 件
5) 会員相互の親睦を深める機会の充実		
・会員交流会	令和元年 11 月 2 日(土)	参加者 84 名 かながわ県民ホール他
	対象：60 歳以上の会員(令和 2 年 3 月末現在)	
・新春のつどい	令和 2 年 1 月 23 日(木)	参加者 361 名 横浜ロイヤルパークホテル
6) お年玉プレゼント(広報出版委員会)	当選者	46 名

事業実施内容		
7) 会員サポート事業		
3 会員に対する研修支援事業		
1) 看護管理者及びスペシャリストのための学習支援		
(1) 認定看護管理者教育課程事業		
・認定看護管理者教育課程運営会議	定例会	年 3 回
・ファーストレベル	研修期間	令和元年 5 月 8 日～8 月 28 日 受講者 71 名
・セカンドレベル	研修期間	令和元年 10 月 3 日～令和 2 年 2 月 28 日 受講者 40 名
・セカンドレベル修了者交流研修	年 1 回	受講者 56 名
・緩和ケア認定看護師フォローアップ研修	年 1 回	受講者 79 名
(2) 組織的役割遂行能力/自己教育・研究能力研修	年 8 回	延 10 日 延受講者 868 名
(3) 医療安全管理者養成研修	年 1 回	7 日 受講者 84 名

VII 法人の管理に関する事業(定款第 4 条第 2 項第 2 号 法人管理事業)

事業実施内容		
1 職能団体としての組織・運営強化		
1) 諸会議の開催		
(1) 通常総会	令和元年 6 月 21 日(金)	
(2) 理事会	定例理事会 5 回	臨時理事会 1 回
(3) 事業説明会	年 1 回	
(4) 財政会議		
(5) 新聞への広告掲載	年 2 回	
2) 日本看護協会との連携		
(1) 通常総会への参加	令和元年 6 月 6 日(木)	開催地：北海道 函館アリーナ
(2) 全国職能集会への参加	令和元年 6 月 7 日(金)	開催地：北海道 函館アリーナ
(3) 地区別法人会員会（関東甲信地区）の開催	令和元年 10 月 7 日(月)	開催地：群馬県 ホテルメトロポリタン高崎
(4) 関東甲信地区支部役員等研修会への参加	令和元年 10 月 8 日(火)	開催地：群馬県 ホテルメトロポリタン高崎
3) 新公益法人に関する業務等 ホームページ、KANAGAWA 看護だより等の活用		
4) 事務局機能の整備・充実		
(1) 事務局情報通信システムの運用・管理		
(2) 役職員の資質向上のための研修及び学会参加	事務局・訪問看護ステーション研修 年各 1 回、 学会参加 年 6 回	
5) 委員会		
(1) 推薦委員会		
(2) 会員委員会		
(3) 看護研究倫理審査会	年 1 回	
2 政策提言及び県・関係団体・看護学校等との連携促進		
(1) 神奈川県・県議会への要望活動	年 1 回	
(2) 神奈川県との連携		
(3) 県内医療関係団体等との連携・交流の推進		

貸借対照表

令和 2年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	640,015,649	695,941,595	△ 55,925,946
未収金	79,690,969	76,053,342	3,637,627
前払金	6,331,657	4,848,978	1,482,679
立替金	477,850	272,418	205,432
流動資産合計	726,516,125	777,116,333	△ 50,600,208
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	102,800,773	102,800,773	0
建物	407,943,270	420,128,956	△ 12,185,686
基本財産合計	510,744,043	522,929,729	△ 12,185,686
(2) 特定資産			
役員退職慰労引当資産	6,785,480	5,347,400	1,438,080
退職給付引当資産	103,367,275	76,695,207	26,672,068
資産取得積立資産	737,426,763	712,265,928	25,160,835
建物建替積立資産	282,396,031	270,096,948	12,299,083
特定資産合計	1,129,975,549	1,064,405,483	65,570,066
(3) その他固定資産			
車両運搬具	3	4	△ 1
什器備品	2,488,392	577,447	1,910,945
敷金	1,689,000	700,000	989,000
保証金	5,622,702	6,092,702	△ 470,000
その他固定資産合計	9,800,097	7,370,153	2,429,944
固定資産合計	1,650,519,689	1,594,705,365	55,814,324
資産合計	2,377,035,814	2,371,821,698	5,214,116
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	18,198,753	22,675,376	△ 4,476,623
前受金	195,215,000	207,677,000	△ 12,462,000
預り金	3,827,299	12,992,133	△ 9,164,834
役員賞与引当金	1,219,000	1,190,000	29,000
賞与引当金	12,838,974	10,897,000	1,941,974
流動負債合計	231,299,026	255,431,509	△ 24,132,483
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	6,785,480	5,347,400	1,438,080
退職給付引当金	103,367,275	76,695,207	26,672,068
固定負債合計	110,152,755	82,042,607	28,110,148
負債合計	341,451,781	337,474,116	3,977,665
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	510,744,043	522,929,729	△ 12,185,686
(うち特定資産への充当額)	957,094,767	931,933,932	25,160,835
正味財産合計	2,035,584,033	2,034,347,582	1,236,451
負債及び正味財産合計	2,377,035,814	2,371,821,698	5,214,116

正味財産増減計算書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	281,158	123,434	157,724
特定資産受取利息	281,158	123,434	157,724
受取入会金	64,000,000	65,780,000	△ 1,780,000
受取入会金	64,000,000	65,780,000	△ 1,780,000
受取年会費	226,227,000	221,862,000	4,365,000
受取会費	226,227,000	221,862,000	4,365,000
事業収益	439,288,150	433,368,041	5,920,109
受講料等収益	46,636,868	51,845,318	△ 5,208,450
受託事業資料代収益	4,044,500	3,997,500	47,000
参加費収益	5,653,000	5,687,000	△ 34,000
訪問看護事業収益	370,027,476	359,458,654	10,568,822
療養費収益	130,044,005	125,704,767	4,339,238
介護保険収益	232,324,159	229,029,079	3,295,080
休日訪問等収益	1,749,733	0	1,749,733
その他利用収益	5,909,579	4,724,808	1,184,771
居宅介護支援事業収益	12,926,306	12,379,569	546,737
受取補助金等	101,619,886	104,039,382	△ 2,419,496
受取神奈川県補助金等収益	80,046,590	82,892,924	△ 2,846,334
ナースセンター事業受託収入	51,137,000	55,936,000	△ 4,799,000
看護研修事業受託収入	999,000	943,000	56,000
訪問看護導入研修受託収入	1,406,000	1,380,000	26,000
訪問看護ステーション・医療機関相互研修受託収入	1,430,000	1,402,999	27,001
重症心身障害児者看護研修事業受託収入	856,000	841,000	15,000
介護施設等看護実務者研修事業受託収入	1,560,000	1,531,000	29,000
看護実践教育アドバイザー事業受託収入	20,039,036	18,187,925	1,851,111
看護師管理能力養成研修事業受託収入	748,610	735,000	13,610
重度重複障害者等支援看護師養成研修事業受託収入	670,944	690,000	△ 19,056
訪問看護ステーション教育支援事業受取補助金	1,200,000	1,200,000	0
新人看護職員研修事業受取補助金	0	46,000	△ 46,000
受取横浜市補助金等収益	3,074,455	2,942,000	132,455
訪問看護師研修会事業受託収入	1,120,370	1,100,000	20,370
小児訪問看護・重症心身障害児者看護研修会事業受託収入	1,582,777	1,554,000	28,777
災害支援ナース研修事業受託収入	95,208	288,000	△ 192,792
看護職員復職後フォローアップ研修事業受託収入	276,100	0	276,100
受取川崎市補助金等収益	567,000	556,000	11,000
重症心身障害児者看護研修事業受託収入	567,000	556,000	11,000
受取相模原市補助金等収益	1,050,641	1,041,258	9,383
ナースセンター事業受取補助金	1,050,641	1,041,258	9,383
受取日本看護協会補助金等収益	15,913,200	15,635,200	278,000
教育事業及び看護の普及啓発事業助成金	10,194,620	10,097,320	97,300
会員登録事務業務受託収益	5,218,580	5,037,880	180,700
看護政策推進のための組織強化事業受託収益	500,000	500,000	0
受取団体助成金等収益	968,000	972,000	△ 4,000
団体助成金収入	968,000	972,000	△ 4,000
受取寄付金	4,470,000	4,640,000	△ 170,000
受取寄付金	1,110,000	1,010,000	100,000
協賛金収益	3,360,000	3,630,000	△ 270,000
かながわ看護フェスティバル	3,360,000	3,630,000	△ 270,000
雑収益	1,701,407	1,613,789	87,618
受取利息	35,357	34,994	363
その他の雑収益	1,666,050	1,578,795	87,255
経常収益計	837,587,601	831,426,646	6,160,955
(2) 経常費用			
事業費	794,506,950	732,903,429	61,603,521
役員報酬	24,542,943	23,141,013	1,401,930
給料手当	439,671,567	403,733,006	35,938,561
臨時雇賃金	8,537,361	7,163,304	1,374,057
役員賞与引当金繰入額	886,000	906,000	△ 20,000
賞与引当金繰入額	12,283,000	10,229,000	2,054,000
役員退職慰労引当金繰入額	1,438,030	2,389,028	△ 950,998
退職給付費用	29,763,535	10,762,173	19,001,362
法定福利費	68,083,918	60,019,203	8,064,715
福利厚生費	7,455,723	7,302,694	153,029
会議費	597,747	652,121	△ 54,374

科 目		当年度	前年度	増 減
Ⅰ	旅費交通費	7,111,156	7,835,494	△ 724,338
	広告宣伝費	991,920	442,800	549,120
	通信運搬費	13,214,414	12,251,908	962,506
	減価償却費	11,402,644	11,385,814	16,830
	消耗什器備品費	2,517,408	2,102,117	415,291
	消耗品費	13,968,293	13,526,286	442,007
	修繕費	361,278	731,692	△ 370,414
	印刷製本費	24,202,969	20,961,946	3,241,023
	燃料費	1,656,562	1,669,110	△ 12,548
	光熱水料費	2,359,897	2,291,934	67,963
	賃借料	39,320,391	37,656,528	1,663,863
	支払リース料	18,025,356	20,438,746	△ 2,413,390
	保険料	2,823,142	2,927,162	△ 104,020
	諸謝金	23,145,173	24,619,628	△ 1,474,455
	租税公課	7,709,920	6,926,029	783,891
	支払手数料	1,562,781	1,464,248	98,533
	支払負担金	14,299,123	14,291,807	7,316
	支払寄付金	0	73,292	△ 73,292
	委託費	16,341,420	24,749,308	△ 8,407,888
	雑費	233,279	260,038	△ 26,759
	管理費	41,844,197	38,332,062	3,512,135
	役員報酬	5,693,147	5,014,118	679,029
	給料手当	6,620,679	6,170,375	450,304
	役員賞与引当金繰入額	333,000	284,000	49,000
	賞与引当金繰入額	441,000	668,000	△ 227,000
	役員退職慰労引当金繰入額	50	263,172	△ 263,122
	退職給付費用	68,265	68,262	3
	法定福利費	3,272,133	2,804,193	467,940
	福利厚生費	2,681,887	2,517,612	164,275
	会議費	161,108	239,063	△ 77,955
	旅費交通費	1,555,840	1,034,180	521,660
	広告宣伝費	108,000	108,000	0
	通信運搬費	1,632,820	1,750,714	△ 117,894
	減価償却費	1,952,013	1,765,578	186,435
	消耗什器備品費	495,630	377,555	118,075
	消耗品費	1,672,762	622,957	1,049,805
	修繕費	4,500	0	4,500
	印刷製本費	1,950,613	2,176,898	△ 226,285
	光熱水料費	17,483	0	17,483
	賃借料	1,165,850	85,860	1,079,990
	支払リース料	1,012,261	399,761	612,500
	保険料	248,360	251,320	△ 2,960
	諸謝金	1,432,980	1,650,200	△ 217,220
	渉外費	29,400	34,020	△ 4,620
	租税公課	168,615	3,658,848	△ 3,490,233
	支払手数料	961,258	816,436	144,822
	支払負担金	5,211,867	3,072,755	2,139,112
	支払助成金	105,000	105,000	0
	委託費	2,777,274	2,197,947	579,327
	雑費	70,402	195,238	△ 124,836
	経常費用計	836,351,147	771,235,491	65,115,656
	評価損益等調整前当期経常増減額	1,236,454	60,191,155	△ 58,954,701
	評価損益等計	0	0	0
	当期経常増減額	1,236,454	60,191,155	△ 58,954,701
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	経常外収益計	0	0	0
	(2) 経常外費用			
固定資産除却損	固定資産除却損	3	1	2
	経常外費用計	3	1	2
当期経常外増減額	当期経常外増減額	△ 3	△ 1	△ 2
	当期一般正味財産増減額	1,236,451	60,191,154	△ 58,954,703
	一般正味財産期首残高	2,034,347,582	1,974,156,428	60,191,154
	一般正味財産期末残高	2,035,584,033	2,034,347,582	1,236,451
Ⅱ 指定正味財産増減の部	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	0	0	0
	指定正味財産期末残高	0	0	0
	Ⅲ 正味財産期末残高	2,035,584,033	2,034,347,582	1,236,451

財産目録

令和 2年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	1,105,319
	普通預金			333,165,063
	共通・新会費横浜県庁	横浜銀行県庁支店	運転資金として	145,152,825
	公益・横浜県庁	横浜銀行県庁支店	運転資金として	32,236,186
	公益・受講料	横浜銀行関内支店	運転資金として	1,558,765
	公益・三井住友	三井住友銀行横浜中央支店	運転資金として	34,405
	公益・横浜フェスティバル	横浜銀行県庁支店	運転資金として	930,000
	収益・横浜県庁	横浜銀行県庁支店	運転資金として	37,424,679
	収益・三菱東京	三菱東京ＵＦＪ銀行横浜中央支店	運転資金として	10,044,918
	法人・横浜関内	横浜銀行関内支店	運転資金として	56,415,265
	法人・医師信組	神奈川県医師信用組本店	運転資金として	275,853
	かがやきＳＴ	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	11,274,400
	かがやき小口	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	207,669
	かがやき居宅	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	4,714,768
	あかしあＳＴ	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	7,964,716
	あかしあ小口	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	257,299
	おおいそＳＴ	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	5,679,314
	おおいそ小口	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	851,285
	おおいそ居宅	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	5,833,763
	洋光台ＳＴ	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	12,114,298
	洋光台小口	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	194,655
	定期預金			305,745,267
	公益・横浜県庁	横浜銀行県庁支店	運転資金として	91,921,313
	収益・横浜県庁	横浜銀行県庁支店	運転資金として	26,102,357
	収益・三菱東京	三菱東京ＵＦＪ銀行横浜中央支店	運転資金として	50,686,767
	法人・横浜関内	横浜銀行関内支店	運転資金として	122,879,855
	法人・医師信組	神奈川県医師信用組本店	運転資金として	14,154,975
	未収金		訪問看護療養費、県・市受託金等	79,690,969
	前払金		家賃、駐車場代、会場予約金等	6,331,657
	立替金		日本看護協会通常総会経費等	477,850
流動資産合計				726,516,125
(固定資産)	基本財産	土地	横浜市中区富士見町3番地1 (地積246.57㎡) (地積158.29㎡)	102,800,773
			公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している (70,110,127円)	
			(地積52.77㎡) (地積35.51㎡)	
		建物		
			神奈川県総合医療会館 (5階の一部及び6階)	407,943,270
			公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している (256,999,920円)	400,311,401
		建物附属設備		
			清康社ビル研修室 あかしあ訪問看護ステーション 洋光台訪問看護ステーション 洋光台訪問看護ステーション	
			公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している	6,401,582
		造作		
				5,181,323
				707,570
				512,689
			公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している	1,230,287
	特定資産	役員退職慰労引当資産 退職給付引当資産	横浜銀行県庁支店	6,785,480
				103,367,275
			神奈川県債 横浜銀行県庁支店	50,000,000
		資産取得積立資産		53,367,275
				737,426,763
			研修センター取得に備えたもの (公益目的資産取得資金)	
		建物建替積立資産	神奈川県債 横浜銀行県庁支店	530,000,000
				207,426,763
				282,396,031
			神奈川県債	170,000,000
		横浜銀行県庁支店	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している (109,140,000円)	
			収益事業等の用に供している (36,380,000円)	
			管理運営の用に供している (24,480,000円)	
				112,396,031
			公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している (72,559,455円)	

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
その他固定資産	車両運搬具	訪問看護ステーション	収益事業等の用に供している (23,812,314円) 管理運営の用に供している (16,024,262円)	
	什器備品	訪問看護ステーション、 事務所付帯設備一式	公益目的保有財産であり公益目的事業の 用に供している (529,752円)	3 2,488,392
	敷金	訪問看護ステーション、 コルニッシュ横浜	管理運営の用に供している (1,958,640円) 公益目的保有財産であり公益目的事業の 用に供している (1,564,000円)	1,689,000
	保証金	清康社ビル、 訪問看護ステーション	管理運営の用に供している (125,000円) 公益目的保有財産であり公益目的事業の 用に供している	5,622,702
固定資産合計				1,650,519,689
資産合計				2,377,035,814
(流動負債)				
未払金 前受金 次年度会費 次年度協賛金 コンビニ収納 預り金 健康保険料 厚生年金保険料 源泉所得税 市・県民税 親和会費 会費 報償費等所得税 その他 役員賞与引当金 事業費 管理費 賞与引当金 事業費 管理費		公益目的事業会計 収益事業等会計 法人会計	居宅介護費用振替額等 (14,622,708円) 弔慰金等 (10,424円) 令和元年度退職手当等 (3,565,621円)	18,198,753
		令和2年度会費	公益目的事業及び管理運営の 支出に供する会費の前受	195,215,000
		令和2年度フェスティバル協賛金 令和2年度研修受講料	公益目的事業に計上する協賛金の前受 公益目的事業等に計上する受講料の前受	194,284,000
				930,000
				1,000
		令和2年3月分		3,827,299
		〃		110,168
		〃		172,020
		〃		721,330
		〃		1,711,400
		〃		9,000
		返金用		539,000
		令和2年3月講師報償税		29,609
		協会ステーション賠償責任保険料等		534,772
				1,219,000
		令和元年度負担額		886,000
		〃		333,000
				12,838,974
		令和元年度負担額		12,283,000
		〃		555,974
流動負債合計				231,299,026
(固定負債)				
役員退職慰労引当金 退職給付引当金		期末退職給付要支給額		6,785,480
		〃		103,367,275
固定負債合計				110,152,755
負債合計				341,451,781
正味財産				2,035,584,033

神奈川看護協会「指定店」のご案内

神奈川看護協会ホームページ
入会案内・会員専用ページからログイン！

パスワード
「2000」

- カテゴリーごとに、約160店舗と提携しています。
- 利用方法は「会員証」提示でOK！紛失の場合は、再発行手続きをいたします。
また、 **キャリナース** の登録*で「電子会員証」の提示でもOK！（下記参照）

★ **キャリナース** 登録はこちら

登録情報の変更は **キャリナース** が便利です！！

- 登録情報に変更がある方（勤務先変更・自宅住所変更・改姓）や会員証再発行などは
会員専用マイページで手続きすることができます。
 キャリナース を利用すると書面での提出が不要です！

神奈川看護協会のホームページからログインできます。
https://kain.nurse.or.jp/members/JNG000101

スマートフォンの方は
QRコードからもアクセスできます。

【キャリナース画面】

22 ● vol.194 2020年9月

KANAGAWA 看護だより ● 23



こんにちは**事務局**です

TEL. 045-263-2901 FAX. 045-263-2905

令和2(2020)年度入会・継続手続き受付中!

■変更手続きについて

所属施設・自宅住所等の変更がある方は必ず県協会までご連絡ください。変更の届けがないと、次年度の継続のお知らせが届かない場合があります。

■コンビニ・銀行の払込用紙をお持ちの方

早急にご納入ください。用紙を紛失された方は県協会までご連絡ください。

■納入方法の変更について

令和3(2021)年度分より会費納入方法の変更をする場合は、早急に県協会までご連絡ください。また、現在の納入方法から口座振替に変更される方は手続き完了まで1か月以上かかりますので、余裕をもって手続きください。

■キャリアースについて

研修受講履歴の管理ができるようになりました。会員情報の確認・変更もできますので、ぜひご登録ください。

問合せ／総務課 企画・会員班 ☎045-263-2918

—広報出版委員会より—

★「看護だより」掲載記事募集!!

①表紙の掲載写真

・ご自分の施設や職員の写真を掲載してみませんか?

②ヒーリングタイム

・癒し、ストレス解消法、ペット自慢等お聞かせください。

③お気に入りスポット

・県内のお気に入りの場所を紹介してください。

問合せ／総務課 企画・会員班 ☎045-263-2918

表紙の
写真



「確かな知識と技術、思いやりのある看護」で患者さんとお家族を支えます

— IMSグループ医療法人社団明芳会
イムス横浜狩場脳神経外科病院
(横浜市保土ヶ谷区)

イムス横浜狩場脳神経外科病院は、国道1号線、権太坂沿いにあります。周辺は緑に囲まれた閑静な住宅街です。

当院は、急性期から回復期の医療・看護・リハビリテーションを実践する脳神経外科の専門病院で、急性期病床58床および回復期リハビリテーション89床の患者様を多職種連携で支援しています。

少子高齢化、成人病患者の増加に伴い脳血管疾患患者は増加傾向にあり、予防、治療、回復に至るまで、ますます地域に根差した医療、看護、介護の提供が必要とされています。

私たちは、突然の発症で苦悩する患者様・ご家族の支えとなるよう「高い知識と技術」を持ち、心から安らいでいただける「思いやりのある看護」の実践を目指しています。

看護部長 櫻井 信子

助産師職能委員会研修会①

日時／10月23日(金) 13:30～16:30
場所／神奈川県総合医療会館 7階 講堂
内容／「CTG判読/母体感染リスクと対策」
講師／神奈川県立こども医療センター
産婦人科 部長 石川浩史氏
対象／看護職
参加費／1,000円(会員:無料)

助産師職能委員会研修会②

日時／11月27日(金) 13:30～16:30
場所／県ナースセンター研修室
内容／「災害時母子救護の現状」(仮)
講師／神奈川県立保健福祉大学
教授 吉田穂波氏
対象／看護職
参加費／1,000円(会員:無料)
問合せ／総務課 企画・会員班 ☎045-263-2918

かながわ訪問看護フェスティバル2020

日程／10月24日(土)
場所／神奈川県総合医療会館7階講堂
講演会／時間 14:00～15:30(13時開場)
テーマ「住み慣れた地域でよりよく生きる」
講師 信友 直子氏
(映画「ぼけますから、よろしくお願いします。」監督)
内容 広島で離れて暮らす認知症の母とそれを支える高齢の父の生活など、ご自身の体験をふまえて「住み慣れた地域で暮らすこと」についてお話いただきます。

介護相談／時間 15:30～16:30

参加費／無料

申込締切／10月12日(月)

訪問看護入門研修

訪問看護に興味のある看護職を対象に、講義や実習を通して訪問看護の基礎を学びます。

①日程／11月11日(水)・12日(木)

締切／9月24日(木) 必着

会場／県ナースセンター研修室

②日程／12月2日(水)・3日(木)

締切／10月15日(木) 必着

会場／県ナースセンター研修室

実習地域／県内の訪問看護ステーション

定員／各回30名

受講料／無料

問合せ／地域看護課 ☎045-263-2933

※研修会、講演会は新型コロナウィルス感染拡大状況及び天災等により予告なく中止・変更になる場合があります。中止等につきましては当協会ホームページに掲載いたしますので、随時、ご確認くださいませよう願ひ申し上げます。

編集後記

コロナウイルスに対する日々の変化も習慣となり、自然と対策ができるようになりました。いろいろな支援や励ましがありがたく、立ち向かう糧になりました。身に付けた対策をもう一度再確認して、リフレッシュしていきましょう! (M.I.)